

教育懇談会 意見交換での発言内容

【日高会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>ふるさと教育とは、ふるさとを愛するという教育のことか。</p> <p>親がふるさとを愛していないと、子どもはそう思わない。親が自分の地域が好きで、ここに住みたいと心から願っていただければ、子どもも自然とそうなると思う。</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>
A氏	<p>最近の子どもは人付き合いが苦手。遊べない、辛抱できない。</p> <p>昔は子どもがたくさんいて、上級生から下級生まで群れて遊んでいた。今は子どもがいない。遊ぶといっても学校に来ないと遊べない。遊んでいても一緒にいるだけで、それぞれが別々のことをしていて、群れて遊ぶ経験がない。ゲームなど1人で遊んでいる子が増えている。</p> <p>学校では、どう役割を担っていくのか。</p>	<p>コミュニケーションを図るということは、群れて遊びの中などで自然に育んでいたものでもある。学校ではそういった機会を意図的に作り、少しでもそうした力をつけたいと考え、取り組んでいる。</p>
B氏	<p>子どもの人口減少、複式学級の説明があった。コミュニティでは、子どもを増やすために、あるいは、他地域から来てもらうために、各地域が一生懸命になって子育てや環境づくりに取り組んでいるが、なかなか難しい。</p> <p>子どもの減少、複式学級の阻止について、地域ぐるみで対応を検討しなければならない。地域に対してどうしたらよいか助言をいただけたらありがたい。</p>	<p>市の全体の人口減少については地方創生総合戦略で5年ごとに取組を進めている。豊岡に暮らす価値を高めるため、芸術やふるさと教育、コミュニケーション教育など、市外に向けての情報発信を含めて取り組んでいる。しかし、小さい地域には成果が現れにくい。振興局ごとでも人口減少対策の取組を行っているが、人口回復には至っていない。</p> <p>地方創生では、合計特殊出生率を、少し前の1.82を2035年までに2.3に引き上げる、また、10代で豊岡を離れ、20代で帰ってくる若者回復率5割を目指しているが、それが成功しても2060年の人口は38,000人が8,900人余り増える程度である。</p> <p>人口が減るということを前提に、小さい地域でも地域活力を維持して豊岡に住む価値を高めていこうとしている。</p> <p>子どもの人口減少を防ぎ、複式学級を解消することへの対応策は大変難しいと感じている。</p>
C氏	<p>小規模校の保護者だが、保護者間で統廃合の話題がよく出る。</p> <p>実際に統廃合はどのようなタイミングで行われるのか。また、どのくらいの規模になると進められるのか。</p>	<p>市内のいくつかの地区から「子育て世帯が子どもの多い地域を望み、転出してしまっている。このままでは地域が持たない。」というお話があり、地域が主体になって統合に向けた動きをされてい</p>

	<p>気にされている方が多いと思う。</p> <p>そういった意見・質問はどこにすれば良いのかわからない。噂だけが先行している。わかりやすい方法を教えていただきたい。</p>	<p>るところもある。また、個人で直接、市役所にどうしたらいいかと問い合わせをしてこられる方もある。</p> <p>現在、統廃合の基準は持っていないが、施設整備においては、小学校で50人以下、中学校で120人以下の場合は大きな改修工事をしないという基準を設けている。</p> <p>今回の教育懇談会は、まず児童生徒数の現状を知っていただいて、地域で議論をしていただくきっかけになればと考え、開催している。</p>
D氏	<p>クラスの中で、最近では特別な支援が必要な子どもが増えてきたが、担任1人では目が届きにくい。一方で、1クラスの基準人数が決まっている。</p> <p>小規模校では人数が少ないために統合するかどうか、一方では1人の先生が見切れていないという状況でバランスがとても悪いと思う。学校ごとの問題点としてどのように取り組んでいるのか心配している。</p>	<p>兵庫県では、1クラスの人数は、1年から4年は35人まで、5・6年は40人までと決まっており、担任が1人つく。特別支援学級はまた別の基準がある。</p> <p>人数が多い、課題が多い学校には、加配という制度で先生を増やす制度もある。人数だけでなく、子どもの状況に応じて学校から話を聞き、実際に見に行きながら、先生を加配して対応している。</p>
D氏	<p>人口減少に対して、市外から来てもらうこと、今いる方がもっと子どもを産んでくれることが必要だと思うが、お金の問題が出てくる。子どもを産めばお金がいるし、保育園の問題もある。</p> <p>出生に関して対策を進めていくことが一番いいと思うが、引っ越しを繰り返して豊岡に帰ってきた人間としては、豊岡の子育ての助成制度が悪すぎて、引っ越そうかと思うぐらい、他市町の方がいいところが多かった。そこを改善していただけたら、出生率も上がると思うが、どのようにお考えか。</p>	<p>子育てに関する助成制度について、重く意見を受け止めさせていただく。</p> <p>豊岡市では、県の制度に基づき、若干上乘せして助成している。近隣市町が医療費を無料化していることも聞いているが、豊岡市では、そこまですることができず、若干負担をいただきながら、学習面では市独自の取組など、他の面で力を入れてやっていきたいと考えている。</p> <p>医療費については、色々な課題を皆さんからもお聞きしているので、受け止めさせていただく。</p>
A氏	<p>日本の人口減は平和で豊かだから起きていると考える。人口が減っても豊かで平和な国であれば私はそれでいいと思う。</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>
E氏	<p>地域の皆さんは、小学校がずっと地域にあって欲しいと願われていると思うし、地域の光になっていると思っている。学校も、地域とともに歩んでいきたいと思っている。</p> <p>ただ、現状、保護者の皆さんも、子どもが減っていることはご存じであ</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>

	<p>る。今日のようにはっきりと示されると、ますますその思いが確信となり、確実に減っていくと捉えられる。子どもが減っていくことの情報共有は以前からされているし、今日、ますますそれが深まったと思う。</p>	
--	--	--

【出石会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>子どもの減少は、戸数が減ったことによる減少か、それとも各家庭の出産率の低下によるものか。</p> <p>私は、例えば働く場所がなくて外へ出ていき、そのために子どもが減るのではないかと思うが。</p>	<p>具体的な戸数の資料は今持ち合わせていない。豊岡では、転入よりも転出が多く、特に若い世代の転出が多い。また、死亡数が1,000人前後、出生数は前年度500人を切っている。生まれる方が少ない。</p> <p>地方創生では出生増に対する施策の一つとして結婚促進にも取り組んでいる。数年前のアンケートでは、全体平均で、未婚の方の7割が「結婚したい・すべきだ」と考えており、特に20代の8～9割が結婚したいと回答している。結婚したい方を応援し、結果として子どもが生まれることを目指しているが、成果が出るまでには時間がかかる。</p>
A氏	<p>教師が非常にしんどい。労働時間のこともある。今聞いた複式学級では2人分の勉強をしなければならないので大変だと思う。そんな大変な先生が、職場では誰に相談するのか。仲間も少ない。相談相手の先生、あるいは悩みを聞く組織はあるのか。</p>	<p>小規模校だと同僚の中に相談できる同じ学年を受けもつ先生がいない。今、小学校では、「授業づくり学級づくり研修会」で、同じ学年を受け持つ先生が集まり、授業のしかたや学級のつくり方などの相談をする研修を行っている。</p> <p>複式に限らず、小規模校は1学年1学級のため、複数の学級があれば隣のクラスではどのようにしているか相談ができるが、それができない。複式学級を経験したことがある先生が少ないため、すぐに相談できない。先生にとっても小規模校はかなりデメリットが大きい。スタッフ側にもそういう面がある。</p>
B氏	<p>私自身も子どもがいるが、人口減少に伴う子どもの減少はこのデータ通りで、特に出石にとっても非常に大きな問題になってくると思う。</p> <p>豊岡市としてどのようにして子どもたちや学校を守っていくのか、オリジナルな考え方や取組があれば教えていただきたい。</p>	<p>今の状況を、今のスタッフで、今の環境で何とかやりくりしたいと考え10年前から行っているのが小小連携（複数の小学校間の合同授業等）である。小学校同士がある程度の規模の学習集団を作って、小さい学校ではできないことをやっているが、打合せの時間、調整、バス移動などの負担があり、非日常的である。</p> <p>この方法をずっと続けるわけにはいかない。そうすると、選択肢としては、統廃合が考えられる。子どもの今の環境や、これから向かっていく学びを保障するという意味では、日常的に何かできるようでなければならない。</p> <p>ただ、学校の有り様は、地域のコミュニティの中核でもあるため、一方的に教育委員会が統合を決めることはできない。このような説明会を持ち、しかるべ</p>

		<p>き審議会で、地域・コミュニティの代表や学識経験者など、皆さんに集まっていたいて、より良い方法を考えていきたい。</p> <p>しかし、それを待てない、もっと早くスピード感を持ってやって欲しい、という地域もある。そういう地域では、「考える会」を立ち上げて、アンケートを取るなどして、PTAや地域の考えを集約したりして独自で行動を起こしているところもある。一概には言えないが、そういった方法もあるということを紹介させていただく。</p>
B氏	<p>地域ごとに色々な課題があると思うし、データをみても、出石地域も急激に子どもが減少している中で、諸問題をオブラートに包まず、地域など色々なところで協議をしてもらって、街を、子どもたちを守るということで、積極的な情報公開等をしてほしい。知らない間に終わっていたということがないようにお願いしたい。</p>	<p>この会が情報提供のスタートである。オブラートで包むというような気持ちはないので、提供できる情報は提供しながら皆さんと考えていきたい。</p>
C氏	<p>豊岡の教育では、説明された基本理念で進んでいるが、中学校を卒業すると高校がある。高校でもこの理念が続けられるのか。高校で、卒業後の実績を重視するような教育をしてしまうと、どうしても差がつきやすい。あるいは豊岡に帰ってこない方がいいような大学の進学、就職先の斡旋、そういった方向に進んでしまわないか。高校との連携ができていいのか伺いたい。</p>	<p>高校は市教委の管轄ではないことはご存じだと思うが、今後、高校との連携を考えていく必要があると思っている。それぞれの高校の持ち味と、小中学校でやっている教育をどのように継承していくのか、高校ではどのような人材をつくらうとしているのかということも合わせながら、情報交換が必要だと考えている。</p>
D氏	<p>市の取組の基本姿勢に「子どもの事実」とあるが、どのようなことを指しているのか。</p>	<p>一般的に評価をするときに、我々が「どのようなことを教えたか」ではなく、子どもが「どのように変わったのか」、「どのような学びをしたのか」を評価する。子ども自身の変容を評価するように捉えている。</p>
E氏	<p>「若者が働くところがない」という雰囲気は地域の大人の中にはある。一方で、街の社長さんたちからは「人がいない」と聞く。私たちが自分の子ども、若者に対して、「地域に残って欲しい」、「人手が足りないところがある」、ということをもっと発信しないといけないと思う。高校になってからでは遅い気がする。小中学校の段階で、街の社長さんのところに行</p>	<p>子どもたちにふるさとの魅力を伝えるということでは、最近では、市長が小中学校に出向き、豊岡にも世界で輝いている企業、世界で活躍している企業があるということ、東京・大阪ではなく、豊岡を選んだ企業があることを子どもたちに伝える場面がある。また、企業から社長さんが学校に出向き、魅力ある企業が豊岡にもあるということ伝えることもしている。</p>

<p>って、トライやるウィークもあるが、実は街には若者がいっぱい欲しい企業がたくさんあることを発信してはどうかと思う。</p> <p>県民局では夢但馬産業フェアを9月に行うが、豊岡市でも若者が地域に残るための、地域に夢を持つためにやっていることがあれば、教えていただきたい。ぜひそういう取組をしてもらって、我々大人も勉強して、地域に魅力的なところがいっぱいあって、働くところもいっぱいあるということを知るべきだ。大学に行って、脚光を浴びている雰囲気のところに行くというところがどうしてもクローズアップされているので、そこをなんとかしないと若者が定着しないと思う。今やっていること、これからできそうなことなどを聞いて帰られたら嬉しい。</p>	<p>地方創生総合戦略では、都会の魅力と豊岡の魅力は価値観が違うので、そこを同じように捉えるのではなく、豊岡でも企業の魅力、自然の魅力、環境活動の取組、文化など色々な面で、豊岡でしかないものを子どもたちに教えるということをやっている。地方創生では、豊岡で暮らす価値を高め、豊岡で暮らすことを選んでくれる子どもを育てようと、ローカル&グローバルコミュニケーションとして、そのまま将来は専門職大学に行って、豊岡の魅力を発信してもらえる企業や旅館に就職してもらえるような方向性で取り組んでいるところである。</p>
--	--

【城崎会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>小中一貫教育で、校舎も一緒になると思っていたが、先日の別の会議では、今のところそれはないと聞いた。小学校6年生から中学校への段階に応じた教育を目指すとのことだった。</p> <p>城崎町では小中学校が一緒に運動会をしている。他の地区に聞くとそこまでいっていない、城崎だけではないか、とのこと。状況を教えて欲しい。</p>	<p>施設一体型の小中一貫教育は兵庫県内にもある。現状としては、施設一体型については検討していないが、実施している各市町でのメリット・デメリットについて情報を収集しているところである。その中で良いということであれば今後検討をしていきたいと考えている。</p> <p>運動会については、城崎は小中学校でやっている。こちらも、メリット・デメリット等を情報収集し、それが良いということであれば他の地域へ広げていきたいと考えている。豊岡市では、今は城崎だけである。</p>
A氏	<p>先ほどのデータを見ると、かなり子どもの数も減っていくので、施設一体型に現実味が出てくるのではないかと思う。</p> <p>保護者の負担が大きくなっていて、同じ方が役員などをされるケースが多くなっており、かなり厳しくなっている。</p>	<p>施設分離型、施設一体型の小中一貫があるが、施設一体型の小中一貫校を見学したり話を聞いたりしており、検討課題としている。</p>
B氏	<p>小中合同運動会については、保護者の方が一番ご存じではないかと思うが、城崎は忙しい方が多いので1日で済むのがありがたい、という意見が今年の意見集約で多かった気がする。</p> <p>子どもたちも、200人近い人数になるので、多彩な競技があって、小学校の子たちが中学校の演技を見られる、一緒にできる、という良さがある。</p> <p>今は運動会だけでなく、授業も9年間で見ていこうと考えていて、小学校の先生が中学校の授業を見に行き、中学校の授業に対して意見や改善要望を言うこともあり、また、中学校の先生も専門的な立場で小学校の授業を見て、中学校に上がってくるまでに小学校でやっておいて欲しいことを伝えるようにしている。こういった面では、城崎は進んでいると思う。</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>
C氏	<p>ふるさと教育で使っている冊子がとても良いもので、よく子どもが学校で学習したことを家で話してくれる。おそらく、学校と図書館にしか配布されていないと思う。家で子ども</p>	<p>市役所で作成しており、冊数に限りがある。新たなものが作られていないのでお分けできていない。冊子は非常に内容の濃いもので、豊岡のことがよくわかるものとなっている。</p>

	<p>と一緒に冊子を見たいのだが、販売はしていないとのことで、入手できなかった。</p> <p>私は豊岡生まれだが、地域のことを知っているようで子どもや他の人に説明できるほどには、わかっていないことをその本を見て実感している。できれば希望者には、この冊子を配布していただけたら、せっかくいふるさと教育をされているので、より理解が深まると思う。</p>	<p>検討させていただくが、今は余分がないということでご理解いただきたい。</p> <p>⇒ 家庭でもご覧いただけるよう、市のホームページに掲載しました。</p> <p>市のホームページから <u>「豊岡ふるさと学習ガイドブック」</u> で検索</p>
D氏	<p>肝心の城崎の小学校と中学校の親たちが来ていないのが残念。テーマにも少し問題があったかもしれない。もう少し危機感を煽るようなテーマでもよかったかもしれない。</p> <p>昨日、城崎と港の懇談会をした。城崎と港のこれからの地域の在り方を探っている中で、誰のために、何のためにかということ、やはり、子どもたちのことしかない。我々の将来を、地域を担ってくれる子どもたちに、未来にしっかりとしたものを残していきたいと思っている。コミュニティの会長さんも同じ思いだと思う。</p> <p>教育現場の方は大変だと思うが、常識を破った新しい発想でやっていかなければだめだと思う。教育現場の在り方を思うと、統合・小中一貫も含めて、城崎と港を考えていかないといけない。</p> <p>公共施設のマネジメントの話もある。将来にわたって、たくさんある公共施設をどう整理していくか、どう活用していくか。維持に大変なお金がかかる。その中で一番多いのが教育施設。先ほどの質問で小中一貫の検討の話がでていたが、今、切羽詰まった状態で、小学校の建替もいずれ必要である。中学校は少し新しいが、定員を考えると、小学校と中学校を足しても定員に満たない。今後、もっと人が少なくなることを考えると、一つの施設でいいのではないかと思う。そういうことを含めていくと、現場の親たちともっと膝を突き合わせて具体的な議論をしなければならない。そういうことも間近に迫っていると私は思う。そういうことを現場の方でやってほしい。</p>	<p>危機感は私たちも十分持っている。あくまでも、子どものための教育環境をどうするか、教育委員会としてはそれを第一に考えていきたい。いろいろな立場の考えもあるかと思うが、まずは、子どもファーストでやっていきたい。</p> <p>確かに、小さい学校と比べれば、城崎はまだ人数が多いが、それでも、学級替えができない。何かあった時、学級が替わって、2学級、3学級あれば、環境が変えてやれるかもしれないが、それができない。そういう状態であることは認識している。また、部活も同様である。もっといろいろな才能があって、可能性があるのに、人数が少ないために、そういう環境にない。</p> <p>残念ながら、今ここに、就学前のお母さんたち、お父さんたち、そして現役の子育ての方たちに来ていただけていない。これは、我々の責任かもしれないが、そういう人たちの話を聞きながら、より良い方向にもっていきたいと考えている。場合によっては、近隣の中学校と一緒になるということもあるかもしれないし、小学校も同じである。いろいろな可能性があるので、教育委員会だけでなく、地域のコミュニティ等の考え方も含めて、総合的に考えながら、まず今、どうするか、それから、10年後20年後をどうするかを含めて、審議会を立ち上げ、いろいろな方に意見を聞きながら、シミュレーションをしていきたい。</p>

	<p>もう一つ、部活についてだが、小学校を卒業して、スポーツ少年団でサッカーをしていたが、中学にはないので、ボート部や野球部に入るしかない。部活も人が少なくて困っているので、部活の在り方も考えていかなければならない。指導の先生も、専門の人が少なくなっていると思うので、現場で、意見を集約して、子どもたちがやりたいことができるようにしてやらないといけないと思う。</p>	
--	--	--

【但東会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>説明を聞いていて、最後のところ、もっとはっきりと言ったら良いのと思った。そうしないと物事は進まないと思う。</p> <p>当町においては、統計を取り始めて以来ずっとマイナスである。町の方では一生懸命にやられたと思うが、その効果はなかなか出てない。端的に言うところの逆境をプラスに変えるように、すなわち、教育特区のような構想をもって、教育委員会だけではなく、すべてをあげて取り組まなければ、この問題はいつまでたってもマイナスの説明しかできないと思う。これをプラスに変えるには、発想の転換しかないと思う。思い切ってやってもらいたいと思う。</p>	<p>人口は、確実に減っていく。豊岡市でやっている地方創生の中では、50年後の人口が55%半以下に減り、いくら市が頑張っても、38,000千人に対して、8,900人の増という見込としている。</p> <p>ご存じかと思うが、10代の若い世代が、1000人のうち、20代になって半分の500人も帰ってこない。これは男性についてだが、女性はさらに帰ってくるのが少ない。</p> <p>但東でも、地方創生以外に振興局のプロジェクトで、婚活支援の対策をとってきておられるが、子どもが産まれるということでは、成果が出るのはもう少し先かと思う。</p> <p>先ほど言われていた教育特区ということについては、但東の特色的な取組として東井義雄教育ということで、合併後でも、特有の取組をされている。また、都会の中学生を招いて農業体験をされるなど、いろいろな魅力のある取組の中で、地域と子供たちの交流を図られているかと思う。</p> <p>今のところ、教育特区というところまで至っていないが、地域特有の取組を通じた但東町の教育がされていると考えている。</p>
A氏	<p>今の考え方は従来の考え方。そういう考え方をしてる以上、絶対に人口を留めることはできない。そこを変えないといけない。それをみんなで行きたくない、教育のことだけを考えているようではだめ、そこは頭を変えていかなければならない。地域プロデューサーでどれだけのお金を使ったと思う？そのお金を使った方がいい。教育は根本。そこを変えていかないと。そういうものの考え方は絶対にダメ。</p>	<p>豊岡市の地方創生というのは、豊岡から離れるお子さんが、都市部のいろいろな魅力にひかれて出られるということがあるかと思うが、豊岡にもすばらしい魅力があり、但東には但東の魅力があって、市でもまた、家庭や地域や学校で、ふるさと教育で、企業の魅力、地域の魅力、地域の良さを伝えているところだが、なかなか残ってくれるというところまでには至っていない。</p> <p>人口減少を止めることは難しいが、それを少しでも緩和するために、行政だけではなく、地域の皆さんやご家庭の中でも子どもたちに訴えられるかということが大事になってくると思う。</p> <p>合併後でも、地域の中でいろいろな取組をされているが、これをきっかけに、但東でも、振興局・地域でも、教育のことでいろいろと検討していければと考えている。</p>

A氏	<p>教育関係の方だけで話をしているからだめ。もっと全体で話をしてほしい。教育だけではだめ。教育は基本なのだから。そんな考え方はだめだということはおわかってもらえないと。</p>	<p>貴重な意見であり、これから考えていく。</p> <p>我々、教育委員会は、今いる子どもたちの教育環境をどうするかという観点で、子どもたちが減っていくという状況を伝えて、言われているような大胆な方法、施策も含めて、これからスタートで考えていきたい。</p> <p>先ほど、「はっきり言ってくれ」というお話もあったが、教育委員会から、はっきりとこうやる、というものではない。地域のそれぞれの状況や特性も踏まえて、学校再編ということも視野に入れて、あるいは、ここに来ればこういう教育が受けられるという、人が呼べる、そういった施策ができればと考えている。そういうことも夢みながら、子どもたちが夢をもって学校を卒業できて、但東が好きだと言ってもらえるように、ということが一番に、いろいろなことを考えていきたい。</p> <p>ただ、地域デザインということもあるので、先ほど言われたように、総合的に考えていくことを視野に入れていく必要があると思う。</p> <p>また、ご存じだと思うが、但東中学校では、日本中に情報発信をしていて、但東でふるさと学習をして、『Mission In Tokyo』として、3年間掛りの集大成として、東京の有楽町の駅前でお客さんに但東のことを紹介し、特産物を紹介し、豊岡をPRする取組をされている。また、大学と連携して、但東をどうしたらいいのかといった取組もされている。</p> <p>そんなことが、自慢できる施策かと思う。そういったことをやって、これから人も増えれば良いと思っている。</p>
B氏	<p>先ほどの説明で、小規模校のメリット・デメリットということがあったが、小規模校で行くのか、統合するのかというふうにも聞いてくるが、統合となると、通学とか、別の問題がでてくる。</p> <p>私は地域づくりにいろいろと携わっているが、地域から学校が無くなると地域が寂れていく原因にもなり、子どもがさらに減っていく。統合して、但東町に小学校が一つだけになり、地域から人口が減って行って、最終的には但東から学校が消えてい</p>	<p>人口減少については、先ほどの話でもあったが、なかなか減少のスピードが止まらないということ。原因としては、若者がなかなか帰ってこない、特に女性の方が帰ってこないということで、但東だけではなく、市全体で、人口が減るスピードを緩和させられるよう、女性に帰ってきてもらう施策として、ワークイノベーション戦略を策定し、女性の回復率を上げていこうとする取組を進めている。そして、女性にも住みやすい街をつくるという取組を進めているが、成果が出るには時間がかかるため、少し先を見る必</p>

	<p>く、出石まで行かなければならないということが想像される。</p> <p>なぜ、そういう方向にもって行くのか。先ほどにもあったが、人口が減って行くのであれば増やすという方向に持って行かないと地域が無くなってしまう。</p> <p>子どもたちを地域づくりに巻き込むわけではない。教育を最優先に考えるのはもちろんだが、地域が崩壊したあとで子どもの教育も何もあったものではない。</p> <p>専門職大学も良いけれど、コウノトリも良いけれど、それよりも高校まで無償化にするとか、そういうことも考えられるのではないか。</p> <p>日本の人口は減るが、豊岡では増えている、若者も帰ってきている、出生数も増えている、というくらい子育てにやさしい街にすることを前向きに考えていかなければ。今日の説明での、「人口は減っていく、このままでは教育が成り立ちませんよ。」ということでは、話が偏っている。先ほどの話と重複するが、教育の分野からはどうすれば守られるかということを考えてもらわないと、今日の説明を聞いた人は、このままでは統合なのだ、仕方がないことなのだ、と思う人がでてくるかもしれない。統合すれば、父兄は大変、地域も大変なので、思い切った教育特区といった取組をしてもらえればと思う。</p>	<p>要がある。</p> <p>先ほど、高校無償化という話もあったが、無償化は国の制度で実施しており、全員ではなく、所得制限に応じて、費用の助成をしているが、それに市が上乗せということはしていない。</p> <p>豊岡市としては、助成の上乗せではなく、特色ある教育の取組を実施している。英語教育では、来年から教科化されるが、それに先立って全小学校にALTを配置し、これに費用をあてている。また、これから絶対に必要となる力を身につけるためとして、コミュニケーション教育の講師を招聘しているが、これにも費用をあてている。限られた財源をどこに注ぎ込むかということで他とは違う取組をしており、他の地域からも、豊岡市の視察等に来られている。</p> <p>ここで学びたいと、帰ってきてくれるように取組を行っているが、すぐには、効果が現れないので、もう少し様子を見ていただきたいと思う。</p> <p>先ほど特区という話があったが、国の制度では小規模特認校という制度がある。これは、従来の通学地域は残したままで、学校のある市町村内のどこからでも通学をする選択を認めるというものである。県内のいくつかが取り組んでおり、少ない人数ではあるが、子どもの数が増えた、子どもたちの関わりの頻度が多くなったということも聞いているが、まだまだ、メリット・デメリットがはっきりと確認できていない。</p> <p>ただ、市内にいくつかの小規模特認校を認めると、子どもたちの取り合いになってしまうというデメリットがあることはわかっている。</p> <p>したがって、そういった制度はあるが、メリット・デメリットを確認しながら、豊岡市としては市全体の取組として、市外から来てもらおうという取組を進めている。</p>
C氏	<p>複式学級の学級編成について、既に実施しているということだが、複式学級は絶対にしないといけないものなのか？</p>	<p>教員の定員にも関わってくるものなので、14人以下は複式学級にすると基準で決まっている。</p>
C氏	<p>もう一つ、メリット・デメリットのところで、いろいろ現実的なことが書かれているが、例えばデメリットの一つとして学習面で、「集団の中</p>	<p>この資料については、文部科学省の資料をそのまま使っているものであるが、子どもの人数が少ないと、考えの数が少なくなる。これはご理解いただけるかと</p>

	<p>で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」とある。ほかの市と比べて人数が少ないので、デメリットが既に発生しているのかと思うが、実際にデメリットが発生することで、何か問題があるのか、そこまで調べているのか？</p>	<p>思う。 これを、少しでも緩和するために先生が子供たちの考えと違う考え、あえて間違った考えを出して、議論をする等の指導面で工夫をしながら、弊害が出ないような授業をし、指導力向上の取組を行っている。</p>
C氏	<p>そういう意味ではなく、実際に考えに触れることが少なくなったことにより、なにか成長が阻害されたような子どもが出たのか、そういう意見を保護者から集めたとか、出たのであれば何らかの対策を取るべきだと思うし、ここにデメリットとしてあげる意味はあると思うが、こういう傾向になりやすいというだけであれば、ここにあげるのはどうかと思う。</p>	<p>一人ひとり聞き取り調査をして出したものではなく、傾向として考えられるもののひとつであるとしてあげている。</p>
D氏	<p>普段は出石町の放課後児童クラブに勤務しているが、それとは別に、但東町の3小の4年生以上を対象に毎年、通学合宿というのをやっている。 地域の公民館をお借りし、4泊5日そこから学校に通っている。昨年は4年生以上の3小学校で計80人位のうち21人、4分の1もの子どもに参加してもらい、実行委員でも喜んでいました。 そういった中で、学校の子どもの数が少ないのを目のあたりにしている。 私たちが子供のころ、資母小学校で、20年前は200人を超えていた。それが今は4分の1、それでは子供たちがかわいそう。 子どもたちは群れで遊ばないと、群れで競争しないと、伸びる個性も伸びない。 地域から学校が無くなる、子どもたちがいなくなる、地域住民からすると耐えがたいことかと思う。それでも、それ以前に自分の家から、子どもが、孫が居なくなる実情をそれぞれの家庭で考えていただかないと、地域のせいにしないで、例えば但東でも、八条校区、五荘校区に家を建てて、但東から離れていく。親の勤務の状況もあるかと思うが、一桁のところで学ばせたくないという親の気持</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>

	<p>ちが大きいと思う。</p> <p>群れで遊ばせてあげないと、これだけ一桁の学年、学校になると、子どもたちがかわいそうである。</p> <p>余談だが、私は、毎年、豊岡の近大中学校の入学式に参加している。開校された当時と、入学生の数は変わらない。今年も70人近くの入学生が入ってきている。何が魅力なのかと考えるが、やはり、子どもの意思もあるが親の意思。あそこに預けると、安心・安全な学校環境が得られるということで、皆さんが選ばれる。</p> <p>公立だから、そういった学校づくりができないとは思わないので、そういった施策を考えていただきたい。</p> <p>とにかく群れで、子どもを伸ばしていただきたいと思う。</p>	
E氏	<p>但東子育てセンターに勤務しており、普段、私は、0歳から3歳児までの在宅で育児を頑張っているお母さん方のサポートをしている。</p> <p>今の若いお母さん方の実情を聞いていただきたいと思って参加させていただいた。</p> <p>現在、但東は年間で20人も赤ちゃんが生まれていない状態。センターに来られるお母さん方は、このまま、但東で子育てをしていいのか、悩みながら子育てをされている。小学校まで但東町にいて、小学校にあがる時に20人も子どもがいない、3つの学校に分散すると、単純に考えて1桁になる。学校に行って、ドッジボールもできない…と考えられている。</p> <p>小学校までに家を建てるのであれば、旧豊岡市内に行くか、出石町内か、福知山か…実際、そういう話を聞いている。</p> <p>私自身、旧豊岡市内から、6年前に異動で但東町に来たが、但東は地域性が良く、とても子育てに適していると思う。今、ここで子育てを頑張っている、子育て真っ最中の人々が、但東町から出ていかれるのは残念でならない。</p> <p>私が6年間ここにいる間でも、8人8組くらいは出ていかれている。</p>	<p>先ほどの発言、今の発言も、本当に重いものだと思う。お二人だけではなく、市内のほかの学校にも、とにかく、今の子の人数では、思うことができないことがたくさんある。どうしたらいいですかと、教育委員会に個人的に来られる方もいる。学校の校長先生、教頭先生に相談されている方もたくさんおられる。</p> <p>それぞれの立場もあり、今日、たくさん、厳しいご意見も聞かせていただいたが、私たちは、目の前にいる子どもたちに、より良い環境にいてほしいと考えている。</p> <p>先ほど、デメリットについて、数値はあるのですかとお尋ねがあったが、数値は取っていないが、誰でもこの事については、たやすく想像がつくことである。環境を少しでも良くするためにはどういうことがあるか、たくさん意見をお聞きして、それをすり合わせながら、審議会を立ち上げて、豊岡市全体として、但東としてどうすればいいのかを考えていきたいと思っている。</p>

	<p>今日、実際、若いお母さん方が来ておられるのも、生の声を聴いて欲しいと、7時半から8時半というとても子どもを連れていて出にくい時間帯に出てきてもらっている。普段、子どもたちは寝る準備に入らなければならないが、我が子のために、これからの但東町の小学校、中学校がどうなっていくのかが心配で、そしていかに子どもたちのことを考えて、親として何ができるかという気持ちで来ておられる。</p> <p>今、この場に来ておられる方以外にも、センターに来ておられるお母さん方から、出席したい気持ちはやまやまだが、どうしても出られないので、よろしく願いますという気持ちを受けてきている。</p> <p>難しいことはわからないが、小学校が一つになることを強く願っている。</p> <p>できれば、お母さん方の生の声をもっと聴いていただきたい。</p>	
F氏	<p>私は、子どもが特に少ない高橋地区に住んでおり、子どもは4人いる。私はもともと豊岡の市内に住んでいたが、但東町に嫁いで、ここで子育てをしている。</p> <p>先ほどあったように、但東町は大変子育てがしやすい環境だと思う。なので、4人産めていると思う。周りの方のサポートがないと子育てできないし、学校・こども園のことも、周りの人たちがいるからこそできている。確かにPTAの役員が2年に1回くらいのペースで回ってくるなど、負担は大きいですが、地域と家族、先生が密に連携を取ってやられているので、人数は少ないけれども、豊岡市でも誇れる地区だと思っている。</p> <p>まず、本当に言いたいのは、なぜこの時間帯なのか。私はこの時間、出るつもりはなかったが、若いお母さん、友達からもぜひ意見を言って欲しいと言われたので、行かなければならないと思って出てきた。</p> <p>夏休みとはいえ、こども園は通常通りあり、9時までに寝かせなければ</p>	<p>開催時間については、本当に悩みました。昼間に来やすい方もある一方、どうしても少しでも多くの方に来ていただきたいということで、お仕事をされている方でも来やすい、この時間にさせていただいた。一時保育をさせてはいただいたが、やはり眠い、子育ての方には大変な時間ということで、申し訳なく思っている。2回に分けて実施するとか、そういう工夫をすればよかったと今、お話を聞いて反省している。</p> <p>医療費等、子育てにやさしい地域にという話もありましたが、おそらく、市長に直接聞かれた理由で、豊岡市はそこまでできていないという状況である。先ほどにもあったとおり、限りある財源をどう配分するかということで、少子化、高齢化への対応、それ以外にも特色ある教育ということで力を入れている面もあり、財源の配分の仕方が朝来市など近隣で無償化しているところとは違うということでご理解いただきたい。</p> <p>保育園については、10月から3歳以上は無償化がスタートするが、0～2歳児については保育料がかかる。保育料については、国の基準があり、豊岡市では、国の基準よりも20%減額している。それ</p>

ばならない。それまでに段取りを考え、晩御飯、水着の準備、やらないといけないことはたくさんある。そんな中で、この時間に設定をして、若いお母さんの意見を聞かせてくださいと言われても、出られるお母さんはいない。今も、義理の両親に預けてきましたとか、子どもが大きいから出られるとかはあるが、もう少し、そちらからこちらに合わせるくらいで、お話を聞きに来ていただきたい。そちら側の話を聞くのではなくて、私たちの意見を聞くのであれば、時間を合わせていただきたい。

それから、女性が住みやすいような取組を進めていると言われたが、確かに子育てはしやすいが、4人産んだからといってメリットはない。幸せは4人分あり、大変な分も増えるが、4人産んだから豊岡市に貢献したとか、すごいと思えることはない。

市長にも、来られた時に、医療費を無償化してくださいということを直接言ったけれども、ご年配との負担を考えたときに、そこを重くする訳にはいかないとのことで、それはできませんと言われた。高齢化の問題もあると思うが、これだけ少子化が進んでいる中で、なぜ無償化ができないのか、朝来はできるのになぜ豊岡はできないのかということが、お母さん方が思っておられることである。4人いたら、例え医療費が全額ではないにしても、毎週のように病院に行かなければならないような状態になった時、微々たるものであってもそれが積み重なったら家計にどのくらい負担があるかを考えていただきたい。

但東地域には子どもは少ないが、子どもが多いお母さんは多い。子育てしやすい、子どもにやさしい場所だと思うので、そこを大切に扱って欲しいと思う。

でも、近隣の市町よりも高い状況かもしれないが、財源を配分しながら、できる範囲で、子育てにも優しい街づくりに努めており、ご理解いただきたい。

【豊岡（港地区）会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>先ほど説明があったとおり、港西小学校ではすでに複式になっていること、港東小でも先ほどの資料では6年後の姿であったが、学校からは2022年に複式学級になる見込みと聞いている。そういった中で、港東小、港西小、港中、こども園の4つの港学校園のPTA役員で話し合い、PTAの保護者の方を対象にアンケート調査を実施させていただいた。</p> <p>アンケート調査については現在集計中であるが、今後、この意見を受け、どのように進めていくか協議し、また、PTAの総意の上で区長会長に、結果を伝えたいと思っている。</p> <p>反対意見の方もおられ、慎重に進めていかなければならないが、今後、仮に、統合する方向でまとまった時、一般的にどのような動きをするものなのかを教えてください。</p> <p>また、「将来的には統合」という意見も多くあった。それほど急がなくても…という意見なのかと思うが、通常、統合までにどの位の期間を要するものなのかをお尋ねしたい。</p> <p>もう一つ、反対の意見の中で、通学の手段を心配されるものが多くあった。スクールバス等、どのようなプロセスで決められるのかを教えてください。</p> <p>今日は、保護者の皆さんも多く来ておられるので、教えてください。少しでも不安解消につながればと思う。</p>	<p>市が合併した以降では、日高の西気小学校、森本中学校が統合している。</p> <p>西気小では、区の方が中心に動かれ、区の方で合意形成をされ、PTAに声掛けをされて、統合という運びになったと聞いている。西気小の例では、施設整備なしに清滝小に入られたため、1年少しの期間であった。</p> <p>森本中は、PTAが課題認識され、区の方に声掛けをされ、合意形成を区とPTAでされて、市に要望をだされた。竹野に行くのか、豊岡に行くのかと、場所からの議論であったため、2年少しかかっている。</p> <p>港地区ではPTAから課題認識されて、今後、前に進めるとすると、区の中で、地域全体でどうするかという合意形成がなされた後に、市に要望書を出していただき、市はそれを受けて、市が事務局になって統合準備委員会を作ることとなる。</p> <p>通学をどうするかという件では、通学部会を立ち上げ、そのほか、学校運営の部会や総務部会などで、校章や校歌をどうするかなどを協議していただく。</p> <p>大きな施設整備が出てくるようであれば、時間がかかるが、どこかの学校に入るということであれば、1年程度で行けるものと思う。</p>
B氏	<p>今後、合併の話を市が主体になってやっていただくことはできないか？</p>	<p>市が主体という部分も、今後、必要になるところもあるかと思うが、市が主体的になると、地域が反対されて、うまくいかないケースもある。</p> <p>今、PTAが主体的にやられているのであれば、区とPTAで合意形成を図ったうえで、PTAも含めて区全体の総意として市の方に要望書として出してもらったあとで市が動いた方がうまくいくのではないかと考えており、基本はそれで行かせていただきたい。</p>

【豊岡（港地区除く）会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>非常に詳しい説明をしていただき、勉強になった。</p> <p>正直なところ、たくさんの心配を抱えている。私だけではなく校区の皆さんが、子どもが激減していくということで、大変な不安を抱えておられると思う。</p> <p>統合とか合併という話も出ており、校区の中でも、区長会の関係で、「考える会」という会で話し合いの場があるが、現実的に個人的な事情や教育的な視点、教育に携わっていない方等、色々な面でなかなかまとまらないのが実情で、まとめるのは至難の業である。</p> <p>今後、特に不安を抱えている校区については、個別に不安を解消できるような説明等を考えておられるのか教えていただきたい。</p>	<p>奈佐地区では、地域で統合についての話が出ているということをお聞きしている。地域の中で話をまとめていただくことが基本になるが、今日と同じような説明を地域でも、ということであれば、出向いて行って、お話しをさせていただきたいと考えている。</p>
B氏	<p>奈佐小校区で会を持って、保護者の意見等を出し合っているのだが、例えば、今、全国で学校選択制度とか、通学区域を弾力的に運用しているところがたくさんある。そういう形を豊岡が考えられる可能性があるのかをお聞かせいただきたい。</p> <p>奈佐には1名のみの学年もあり、統合という話も出ているが、高学年の保護者としては奈佐小学校で卒業したいとの思いもあり、意見は2つに割れ、区全体としてどう考えて行ったらいいのか悩んでいる状態である。</p> <p>選択制ができるのであれば、大規模校に通わせたいという保護者の希望もかなえられるのではないかと思うのだが。</p>	<p>本日は、いろいろな要望をお聞きし、いろいろな可能性を考えさせていただいた場として、来させていただいている。</p> <p>今後、いただいた意見を踏まえ、審議会を立ち上げて、地域の皆さんもまじえて、色々と検討を重ねながら、しかるべき方針を打ち出すこととしている。</p> <p>しかし、それでは間に合わないという切羽詰まった地域の場合、先ほどの話でもあったように、スピード感を持って対応していきたいと考えている。</p> <p>今のお話について、その考えもないことはないが、例えば学区制を緩めた時、市全体でメリットがあるかどうかを考えなければならない。また、奈佐で今就学をしている子どもたちだけではなく、これから就学する子どもの保護者の皆さんがどう考えておられるのかを把握しなければならない。</p> <p>但馬で、小規模特認校制度を採用しているところがある。校区を緩めて、同じ市内であれば校区を越えて就学しても良いという制度だが、学校の児童数が増えるということはほぼない、増えても数名であると聞いている。さらに、もっと大切なこ</p>

		<p>ととして、デメリットで出ているのが、地域で子どもを育てようと思ったときに、地域を越えて子どもが学校に行っているのも、地域が成立しないというコミュニティの問題も出てきている。そういったことを総合的に考えながら、学区制なども可能性として検討していかなければならない。</p> <p>したがって、本日は、意見として、お聞きしておく。</p>
C氏	<p>奈佐では、区長会の方たちとPTAと保護者とで何回か協議をさせていただいてきた。</p> <p>統合の手順についてはあらかじめ聞いており、最終的には要望書を教育委員会に出すということだが、保護者の中では統合に対していろいろな部分ですごく不安を持っている。</p> <p>保護者は「要望書を出したら終わり」という不安を持っている。</p> <p>例えば、奈佐でいえば、相手先は五荘小だが、その中で、合併するまでのある程度の行程を知りたい。</p>	<p>市では、合併後、これまでに西気小学校、森本中学校が統合している。</p> <p>例えば、西気小の統合では、区長会から提案され、PTAと協議をされて、地域の合意を経てスタートした。そのあと、要望書を出されて、統合準備委員会を作り、分科会を3つ立ち上げている。総務分科会、通学を検討する通学分科会と、学校運営の分科会で、ここにはPTAの方や地域の方に入ってもらって、教育委員会が事務局をさせていただいて、校歌をどうするか、通学をどうするか等、いろいろなことを一緒に協議させていただいた。</p> <p>どこかの学校に入るという場合は、施設整備が不要であるため、早いところでは1年程度で統合されたところもあり、逆に、施設整備が必要という場合であれば、かなりの期間を要することになる。</p> <p>また、森本中学校の例では、学校の統合先の議論からであったため、2年程度かかったと聞いている。</p>
C氏	<p>統合問題のことで話をしていくと、保護者で賛成・反対の意見が出てくる。役員がとりまとめをしているが、市の方である程度、方針を示していただいた方が役員も動きやすい。負担もある。</p> <p>教育委員会の方から来ていただいて、説明していただいて、道筋を示していただければと思う。</p>	<p>市全体としては、時期はまだはっきりしていないが、学校再編審議会を設置し、奈佐だけではなく、市全体の学校がどうあるべきかという議論をさせていただく予定にはしている。</p> <p>ただ、それには時間が必要であり、今、緊迫感を持っておられる地域については、市全体の動きよりも早くして欲しいというところもあるかと思う。地域の課題が市全体のスケジュールで間に合うのかどうかというところも地域で議論いただきたい。</p>

D氏	<p>まだ、子どもが小さく、小学校の校区を決めかねているところである。こちらに引っ越してきて、まだ地域のことには詳しくないが、五荘小が大規模校で人数が多く、先ほどの奈佐小とか、竹野南小とかの少ないところもあるので、五荘小などの校区の広いところから、奈佐小や竹野南小、豊岡小等の校区を調整して編成を見直すといったことは今後の動きとしてあるのか。</p>	<p>校区割りについては、市では、現行の通りとしており、見直しは考えていない。</p>
E氏	<p>全く違う話だが、学校教育、子どもたちの教育が変わってきていると実感している。</p> <p>先ほどのビデオでは、ふるさと教育やコミュニケーション教育に力点が置かれているが、その中で、落ちこぼれていく子、コミュニケーション能力が低い子どもたちも中にはいるのではないかと思っている。グループの中で、みんなで何かをしなければならないということが重要視されている気がするが、そういったことで、外れていくような子どもたちがいるかどうか、状況を捉えられているのか。</p> <p>それから、いろいろな特色を出す小学校、例えば大規模校は大規模校なりにいろいろな教育の面があり、逆に、小さい学校は、個性を伸ばせるような教育がなされても良いのではないかと思うが、市としての教育は、小・中は、金太郎飴のような教育なのか、もっと特色のある、例えば、田鶴野小については環境に特化した教育、奈佐についてはまた別のことに特化した教育等が可能かどうか？</p>	<p>市では、ふるさと教育については、それぞれの地域の特色に合わせ学校ごとの取組を行っているが、それ以外の部分については、国の学習指導要領に合わせた学習をしており、学校ごとに異なった教育ということが出来るわけではない。</p> <p>コミュニケーション教育については、それぞれの役割の中で、自分を出すのが苦手だという子も、もちろんあり、「しゃべらない役」を与えて、その子が生きるようにしている。</p>
F氏	<p>小学校の校区の再編という話があったが、中学校の校区の再編について伺います。</p> <p>豊岡小校区も昔は5クラス等あったが、今は2クラスのみである。私の子どもは1歳で、45名とか58名しかいない中、2つしかいないクラスを中学校であえて2つに分ける必要があるのかと感じている。</p> <p>豊岡小の中学校区の再編等を考えておられるか教えていただきたい。</p>	<p>以前は分散しても大きな集団だったのが、どんどん少なくなってきている。</p> <p>今回の学校再編についてはその視点はないが、校区審議会というのがあるが、そこで校区をどうするかが審議される。学識経験者や区長会やPTAが集まり、子どもが少なくなってきたいて、豊岡小校区の中学校への進学はもう一つでいいのではないかという意見が出れば、そこを通して教育委員会に具申していただき、協議をして、しかるべき回答を出すということになっている。</p> <p>また、提案をしていただけたらと</p>

		<p>思う。</p> <p>市でも、そういう問題があるということは認識している。</p>
G氏	<p>私の子どものクラスは1年生が一人です。</p> <p>私は、1クラス25人以上は居てほしいと考えており、教育委員会に電話してお聞きしたが、現住所のまま五荘小学校に通うことはできないと言われたため、奈佐小学校に通うしかない状況である。</p> <p>これをなんとか、変えていただくことができないか。</p>	<p>今の状態では、学区の指定があり、学区外の就学についてはできないのが実情である。例外規定はあるが、今回のケースはそれにはあたらない。</p> <p>今、奈佐では、考える会を立ち上げ、いろいろ検討されていると聞いている。市も、これから審議会を立ち上げて検討することとしているが、どうしても時間がかかるため、そこまで待ってられないという意見をたくさんの方がお持ちだと思ふ。</p> <p>ただ、どちらの意見もあつてなかなか進まないということもあるかと思うので、例えば、教育委員会で今日、お話ししたような説明をすることはできる。要望があればお声がけをいただきたい。</p>
H氏	<p>豊岡小校区で、ひかり幼稚園校区の保護者です。先ほど豊岡小が南中・北中に分かれてしまうという話があったが、豊岡小校区の幼稚園児は、小学校入学までも、ひかり幼稚園、めぐみ幼稚園に分かれてしまう。ひかり幼稚園は特に一クラス5人前後のクラスで、男女比にすごく差があり、男の子1人に女の子とか、その逆とか、不安を抱えておられる保護者の話をよく聞く。</p> <p>ひかり幼稚園・めぐみ幼稚園の統合という話は出ているのか？</p>	<p>昨年から、市における幼児教育・保育及び放課後児童の在り方計画を策定しており、その中で幼稚園・保育園・こども園をどうしていくのかということ、を、「子ども子育て会議」という委員会を設けて諮問している。その中で在り方についても検討していただいております、答申を受け、市民の皆様のご意見をお伺いし、計画を作ることとしている。</p>

【竹野会場】

発言者	意見・質問	回 答
A氏	<p>今日、教育懇談会という場を持っていただいて、説明をいただいたが、特に少子化による学級編成というところで、こういった情報を提供していただくのは大変ありがたいが、教育委員会として、具体的にどのようにしたいのかということ述べられていないと思う。なんとなく、わかっているが、そこは、はっきりとしていただけないのか？</p>	<p>教育懇談会については、ここしばらくは開催していなかったということで、豊岡の教育の現状ということと、具体的な児童生徒数の現状をお示しし、地域の中でどういった形で議論していただくかというスタートとしていただきたいと思います。また、これとは別に、他の地域では独自の動きをされている所もある。</p> <p>市としても、今の状況を良くないと思っており、学校再編の審議会を近く設置し、学校再編計画を策定して、市全体の学校のあり方を検討したいと考えている。</p> <p>しかし、それには時間が少々かかるため、そこまで待てないという地域については、個別に議論を始められているところもいくつかある。</p>
B氏	<p>豊岡の教育についてお聞きしたが、主にグループ学習が中心になっているように感じた。そうすると、極小規模の学校については、不可能である。先ほどの意見もあわせて、やはり教育委員会としては、こういう方向で動きたいと、はっきり打ち出していただいた方が、地域の住民も心づもりができるのではないかと思う。</p> <p>それともう一つ、ふるさと教育について。問題はこの地にかに子どもたちが帰ってくるか、そういうような施策をしていかないと、結局、我が家もそうだが、出ていってしまう。とくに女の子では、向こうでお嫁さんに行ってしまうと帰ってこない。なんとか、こちらに帰ってきてくれるような施策を教育と同時にやっていただきたい。</p>	<p>今、ここで教育委員会の姿勢を具体的に示しなさいと、お二方から意見があったが、今回、この情報については初めて提供している。初めてお話をした中で、教育委員会としてこうしますというのが良いのかどうか。あまりにも早急だということで、反対意見が出て、良い審議会の答申をしたとしても、上手くいかなかったという例が山ほどある。今日については、教育委員会としては姿勢をお示しせず、皆さんのご意見をお聞きし、そのことを踏まえながら、各層、例えば学識経験者、地域の代表の方、学校やPTAの方、皆さんに集まっていただいて、竹野だけではなく、市全体でどのような学校再編をすればよいのか、また、この課題をどう解決すればよいのかということを協議していきたいと考えている。</p> <p>例として、教育委員会がルールを引いてしまったために、未だにそのことが遺恨になっていて、教育委員会が勝手にやったという声もたくさん聴いている。そういう失敗をしないように、今日、たくさんご意見をお聞かせいただきたい。</p> <p>ふるさと教育等については、学校で一生懸命対応しており、豊岡の魅力をお伝えして、都会に出ていった若者に帰ってきてほしいという取組をしている。</p> <p>結婚して帰ってこないという話もあったが、若者が出ていく数よりも、帰っ</p>

		<p>てくる数が少なく、特に男性については50%程度帰ってきているが、女性はその半分しか大学に出ていった後に帰ってきていないという実態がある。豊岡市では、若者、特に若い女性に選ばれていないということを危機的に感じており、ワークイノベーション戦略を策定し、豊岡市が女性にとって過ごしやすい、生きがいを持って働きやすい、そういう街であるようにするための取組を進めている。</p> <p>また、市役所でも、キャリアデザインアクションプランを立ち上げ、市役所の中でも進めている。それについては、すぐには効果が出てこないと思うが、なるべく早く、豊岡に女性が帰ってくるような取組を、頑張っているところである。</p>
A氏	<p>先ほどのお話では、この場で具体的なものを指し示す場ではなく…ということなので、一意見として言わせていただく。私も子どもがまだ産まれたばかりで、友人等からは、教育の地域格差というものがある、都会の方に住んで、こちらには帰ってこないと聞いている。例えば、いわゆるお受験とか、そういう競争システムが都会の方にはあり、それがすべて正義とは思わないが、教育自体が、生まれた場所によってある程度左右されてしまうという事態になってしまっている。</p> <p>私としても、少人数教育を私も受けているので、そのメリットも理解できるが、長い目で見ると、自分の子どもが小学校に入った、しかし同級生が一人もいない、もしくは一人しかいないということは避けたい。私個人の意見としては、最終的には小さいところはある程度まとまって、最低限度の人数は確保して、楽しく明るく子どもたちが過ごせる、子どもたちがいかに楽しく成長できるかというところが、親としては一番考えるところなので、検討いただければと思う。</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>
C氏	<p>豊岡の現状が良く知ることができ、自分の地域の中竹野だけが人数が少ないのかと思っていたのだ</p>	<p>本当に貴重なご意見、ありがとうございます。切実な思いと受け止めています。</p>

が、豊岡小学校でも標準規模校で、小規模の学校が 25 校もあると知り、全体的にすごく少ないこと、中竹野だけではないということがよくわかった。その中で、保護者としての意見を言わせていただく。

ビデオの中でもあった、コミュニケーション教育とか、英語とか、演劇をグループに分かれてとか、上手く演じることが目標ではなく、お互いの表現をみて、良いところを話し合ったり、こういうのものあるのだということを見つけあったりするのが目標であるとのことだが、私たちの学校ではそういう経験すらできない。グループに分けることもできない。したがって、お互いに、こんな考えがあるのだとか、そう思っているのだと、知る機会もない。

関係も固定化されてしまっていて、「あの子が言えば、もう言わなくてもいい」、「あの子は、運動はできるけど僕はできなくていい」と、切磋琢磨する機会がすごく少ないと考えている。

先ほどの方も言われたが、子どもたちが生き生きと楽しく学習・運動に取り組んでくれることが私たちの願いである。

その機会として、小小連携で3つの小学校で一緒になって学習する機会を与えてもらっているが、それがすごくうれしくて、子どもも「楽しかった」と帰ってきたのだが、それもたったの2日間。朝の会から終わりの会まで、給食も一緒に食べて、体育もできて、「楽しかった」と帰ってきたその顔が、うれしかったが、反面、すごく寂しくて、この2日が終わると、5人だけのクラスに戻るのだとすごく残念で、あの笑顔をずっと大事にしてやれたらいいなと感じた。

小小連携の機会はあるが、親としては、限られた2日間ではなく、この学習の場面をずっと与えてやりたいと願う。

まだまだ、下にも子どもがおり、

私も、状況を確認するために、一昨年は中竹野小学校の運動会に行きました。一年生が2人で駆けっこをしていた。これがずっと6年間続くと、1位と2位がこのままかと、胸の痛む思いで見させていただいた。

竹野南小学校では特別活動の研究会をしていただき、先生たちが一生懸命頑張ってくれていた。ところが、人数が少なく学級会ができないため、学校会をすること。本当にギリギリのところまで頑張っている。これも、胸の痛くなる思いで見させていただいた。

そういうことを考えると、やはり、これ以上の工夫はもうできない。今後、学習指導要領が変わり時間数が増えるため、小小連携をこれ以上増やすことは不可能になってくる。そういうことも含めて、次の手を考えていきたい。

今日はここまでで止めておくが、そんな思いをしている。

	<p>人口の推移をみると、まだまだ減っているのでは、悩みも尽きない。 意見として伝えさせていただいた。</p>	
D氏	<p>以前、市政懇談会の時にも質問させていただいたが、中竹野小学校の児童数が激減している。統計を調べると、ご存じのとおり、今年度の新生は0人で、入学式がなかった。10年前を見ると、51名いたが、その後6年後には全校生が31名、たった6年間で20名減っている。さらに、その4年後の今年度は23名となり、更に8名減っている。予測では今後、横ばいが続くとなっているが、実際は今後も今年と同じように、せつかく中竹野に住んでいながら、竹野小学校に入学された児童もあり、このようなことが今後も起きてくるのではないかと。中竹野小はとっても良い先生が熱心に良い教育をしてくださっているが、あまりにも人数が少ないために、都会から中竹野に帰ってこない、せつかく中竹野に住んでいながら、校区外通学をする児童が出てきたというのが現状だと思う。</p> <p>現在、複式学級が行われているが、新1年生が0人であるため、1・2年生は複式学級さえ成立しない。2年生5人だけで勉強をしている。</p> <p>私も、教員をしていたことがあり、いろいろ調べてみると、小学生は1クラスの適正人数はだいたい18人位が、教育学的にベストである。あまり多すぎるのも良くなって、10数人が良いと。もし、竹野と中竹野が一緒になることができれば、ちょうどこのくらいの数になって、子どもにとって良い教育ができるのではないかと考えている。ただ、それを考えていくのは保護者・住民の方である。</p> <p>たまたま、区長をしており、区長会を皮切りに、機会を設け、保護者の方、地域の方と相談しながら、進めていきたいと思っているので、教育委員会の方からのバツ</p>	<p>(ご意見としてうかがいました。)</p>

	<p>クアッブもお願いしたい。 保護者の会を9月7日に予定している。また、案内をこれから出そうと思っているので、よろしくお願いしたい。</p>	
--	---	--